

少数台数のリコール届出の公表について（令和7年5月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、令和7年5月は11件の届出がありましたので公表します。

なお、対象が100台未満となるリコールで、既に公表済みの1件については、こちらへの記載はしておりません。

1. マツダ株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
5月15日	5647	車名：マツダ 型式：5AA-DREJ3P 他 通称名：MX-30	34台	令和3年10月4日 ～ 令和6年4月5日
不具合の部位等				
手動運転装置付きの福祉車両において、アクセルリングを戻すためのスプリングの設定荷重が不適切なため、アクセルリングが戻らないことがある。そのため、車両が減速しないおそれがある。				

2. ニコル・レーシング・ジャパン合同会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	輸入期間
5月19日	外4003	車名：BMWアルピナ 型式：7AA-42EM 通称名：XB7	4台	令和5年6月19日 ～ 令和6年4月5日
不具合の部位等				
DME（エンジン制御システム全体を統括する電子制御ユニット）の車載式故障診断装置の診断プログラムにおいて、設計検討が不十分なため、可変バルブ機構（バルブトロニック）関連の異常を検出した際に診断情報がメモリに保存されず、失われることがある。また、酸素センサー等の関連する部品の故障を同時に検出した場合、それらの診断情報も失われて警告灯が点灯しないおそれがある。そのため、関連部品の故障により排気ガスの量が増加した場合に検出できず、保安基準に適合しないおそれがある。				

3. 範多機械株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
5月22日	5643	車名：UDトラック 他 型式：2PG-BSR90S2 他 通称名：コンドル 他	35台	令和3年 8月17日 ～ 令和7年 2月 5日
不具合の部位等				
アスファルト乳剤散布機能を有する自動車において、シャーシフレームの強度が不足しているものがある。そのため、保安基準に適合しないおそれがある。				

4. 株式会社小松製作所

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
5月22日	5651	車名：コマツ 型式：YDN-WA139 通称名：WA80-8	54台	令和元年 5月16日 ～ 令和7年 1月20日
不具合の部位等				
ショベル・ローダ（キャノピ仕様）のコンソールカバーにおいて、防水性に対する設計検討が不十分なため、雨水や洗車水がコンソール内に浸入することがある。 そのため、そのまま使用を続けると、コンソール内のジャンクションコネクタ内部に水が浸入して内部短絡や端子が腐食して、最悪の場合、走行不能となるおそれがある。				

5. ルノー・ジャポン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
5月22日	外3994	車名：ルノー 型式：-DFM5P4- 通称名：アルピーヌA110R	32台	令和4年11月23日 ～ 令和5年11月16日
不具合の部位等				
カーボンホイールのボルト用ガイドにおいて、設計検討が不十分なため強度が不足しているものがある。そのため、走行中の振動により当該部品に亀裂が入り、そのまま使用を続けると当該部品が破損することによりボルトが脱落し、最悪の場合、ホイールが外れるおそれがある。				

6. ルノー・ジャポン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
5月22日	外3995	車名：ルノー 型式：3BA-KFKH5H 通称名：カンゲー	20台	令和5年 7月13日 ～ 令和5年 7月27日
不具合の部位等				
エンジンの燃料噴射装置において、インジェクターレールのメッキ処理工程が不適切なため、使用過程でメッキが剥がれることがある。そのため、剥がれたメッキがインジェクターに詰まることで空燃比が悪化してエンジン警告灯が点灯し、そのまま使用を続けると、排気ガス基準を満たさなくなるおそれがある。				

7. ビー・エム・ダブリュー株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
5月22日	外4002	車名：MINI 型式：ZAA-22GC32 他 通称名：MINI Cooper SE 他	23台	令和6年 3月22日 ～ 令和6年 9月26日
不具合の部位等				
高電圧バッテリーのセルモジュールにおいて、製造が不適切なため、セルモジュール内部で短絡することがある。そのため、最悪の場合、火災に至るおそれがある。				

8. 日本フルハーフ株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
5月27日	5650	車名：UDトラック 型式：2PG-CD4FA 他 通称名：クオン	15台	令和3年 7月20日 ～ 令和6年10月 1日
不具合の部位等				
バン型トラックの後面に備える一体型灯火器において、設計時に取付位置の基準適合性の確認を怠ったため、尾灯照明部が自動車の最外側から400mmを超えて取り付けられ、保安基準第37条第3項に適合しない。				

9. 阪東自動車工業株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
5月30日	外4005	車名：スカニア 型式：不明 通称名：スカニア (LPGRSシリーズトラック)	2台	令和6年12月16日
不具合の部位等				
交通状況の情報を制御しているユニットにおいて、プログラムの設計検討が不十分なため、前方の障害物に対して感知が遅れることがある。そのため、協定規則 159 号に適合しない。				

10. 阪東自動車工業株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
5月30日	外4008	車名：スカニア 型式：不明 通称名：スカニア (LPGRSシリーズトラック)	2台	令和6年 1月30日
不具合の部位等				
トレーラーとの連結時に使用するトレーラーエアホースにおいて、製造工程が不適切なため、強度が不足しているものがある。そのため、走行振動等によりサービス回路（黄色ホース）が破損することにより警告灯が点灯し、トレーラー側にエアの供給がされず、トレーラーの制動力が全くなくなるおそれがある。また、走行振動等によりエマージェンシー回路（赤色ホース）が破損することにより、トレーラー側にエアの供給がされず、トレーラーにブレーキがかかり、そのまま使用を続けると、最悪の場合、火災に至るおそれがある。				

【参考】

●令和7年5月のリコール届出件数

全体（件）		内 訳（件）	
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	1 6（＋4）	1 1（＋2）	5（＋2）
輸入車	1 8（＋2）	1 2（±0）	6（＋2）
計	3 4（＋6）	2 3（＋2）	1 1（＋4）

※ （ ）内は、対前年度同月比

●令和7年度のリコール総届出件数及び総対象台数

<速報値>

月	届出件数（件）			対 象 台 数（台）		
	国産車	輸入車	合 計	国産車	輸入車	合 計
4	9(+3)	21(+12)	30(+15)	142, 771(+3, 851)	39, 331(+30, 347)	182, 102(+34, 198)
5	16(+4)	18(+2)	34(+6)	140, 390(-220, 251)	23, 504(-138, 131)	163, 894(-358, 382)
小計	25(+7)	39(+14)	64(+21)	283, 161(-216, 400)	62, 835(-107, 784)	345, 996(-324, 184)

※ （ ）内は、対前年度同月比

（問い合わせ先）

国土交通省物流・自動車局審査・リコール課 リコール監理室 久米・藤坂 電話 03-5253-8111（代表）（内線 42361）
--